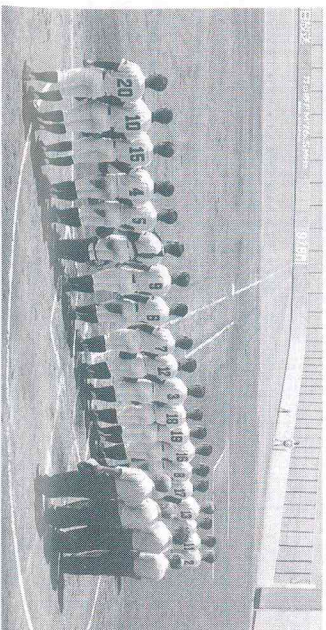


夏の大会3回戦、秋の大会(新チーム)2回戦敗退。

敗戦を糧に、悔しさをバネに、

ONE TEAM で 壁を乗り越えよう!!



『菊池 ONE TEAM』で目指せ甲子園」

渡辺 和雄 野球部監督

菊池高校野球部後援会の皆様には日ごろより物心両面で絶大なご支援・ご声援を賜り心から厚く申し上げます。今シーズンを振り返りますと、春の大会はベスト8(30年ぶり)、RKK旗はベスト4(46年ぶり)とある程度の目標を達成することが出来ました。しかし、夏の大会は、3年連続熊本工業高校との対戦となり、選手は粘り強く素晴らしいプレーを発揮しましたが、3回戦敗退(ベスト16)と結果を残すことが出来ませんでした。新チームではこの悔しさをもとに夏の暑い日差しの中で練習に取り組み試合に臨みましたが、城北地区新入戦では1回戦有明高校に1-2で惜敗、続く秋の大会では学園大付属高校に守りのミスが響き2回戦敗退となり、皆様の期待に応えることが出来ませんでした。

今後はチームの課題である、投手を中心とした守備力強化、機動力を活かした走塁のレベルアップのため、冬場の厳しいトレーニングで基礎体力強化を図り、チーム内の競争を激化させ、来春までに新戦力を育成して、皆様に感動と勇気を与える試合ができるよう地域一体となった「菊池ONE TEAM」でスラッパアップし、夏の甲子園出場を目指します。今後とも皆様方の一層のご支援、ご声援をよろしくお願いします。

「感謝」

佐藤 汰希 前主将 3年

夏の大会では3回戦熊本工業に敗れてしまいベスト16という結果でした。私たちが2年半やってきた高校野球はすごく楽しくて、また悔しい思いもたくさんしてきました。こんな経験ができたのも、学校、後援会、保護者会等周りの方々の応援があったからだと思います。本当にありがとうございました。今3年生は、それぞれの進路に向けて野球で学んだことを生かして日々頑張っています。新チームはまだ結果を残すことはできていませんが、新主将松岡を中心にチーム全員でまとまり、厳しい冬期練習を乗り越えれば必ず結果はついてくると思います。来年の春・夏の大会ではまた菊池旋風を巻き起こしてくれると期待しています。

「レベルアップ」

松岡 聖真 新主将 2年

第101回全国高校野球熊本県大会では2年連続で熊本工業に敗れてしまい、昨年のリベンジを果たすことはできませんでした。私たちの代で熊本工業にリベンジをし、必ず甲子園に出場するという目標のもと、日々の厳しい練習に取り組みでいます。先般行われた秋季大会では、2回戦学園大付属高校に敗れてしまい思うような結果を残すことはできませんでした。私たちの力は、先輩方の半分にも及ばずまだまだ未熟だということを改めて実感する大会となりました。今年のチームは、投手を中心とした守りから入ることです。秋季大会での悔しさを忘れずに厳しい冬季練習を乗り越え来春・夏と勝ち、甲子園へ行くようにレベルアップした姿を見せたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

頑張る菊池丸見

菊池高校野球部

部報 第4号

R元年11月発行